

## 来賓ごあいさつ 在モンゴル日本国大使館 林伸一郎参事官



皆様こんにちは。日本大使館の林と言います。本来であれば本日ここに当館大使の清水が参ってごあいさつを申し上げる予定でしたが、申し訳ございませんが用ができましたので、持ってまいりました清水のあいさつをここで代読させていただきたいと思います。

その前に1つだけお話させてください。皆様にも配られている本日のワークショップで使う資料の中に、「今晚飲みに行きませんか。…すみません。きょうは妻と約束があります。ですから、早く帰らなければなりません。」という例文があります。資料では、この文のどこが「問題」か、と問われているのですが、私はどこがいけないのか全く分からず、嶋田先生に聞いたところ、4~5か所も間違いがあるのだと教えていただきました。嶋田先生がおっしゃられたのは、“死んだ日本語” “生きた日本語”ということでした。なるほど、皆様が日本語を教えるにあたっては“死んだ日本語”を使ってはいけない、“生きた日本語”だからこそモンゴルの人たちが正しい日本語を勉強することができるのだと、本当にシンプルなことですが目が覚めるような思いで聞かせていただきました。そして、そのようなワークショップに参加できる皆様をとてもうらやましく思いました。